



外国出張報告書

平成 26 年 10 月 20 日

1. 出張国名 中国
2. 出張月 平成 26 年 9 月
3. 出張目的 農牧交錯地帯における循環型生産への取り組み状況に対する調査：C

4. 成果の概要

内モンゴルの半乾燥農牧交錯地帯において畜糞等、域内有機資源を利活用した生産システムの持続性を調査した。

北京では、有機農産物生産・販売業者への聞き取り調査をもとに、有機農産物等、高付加価値型生産物の可能性と問題点を検討した。

大都市では有機農産物等に対するニーズは高まっており、循環型生産・販売事業の発展は期待できるが、現状では有機生産技術及び安全管理技術は未確立であり、

また大都市周辺での生産は退耕還林が進められていることから困難となっている。

このため内モンゴル等における畜糞等、域内有機資源を利活用した循環型生産との連携の可能性はあるが、遠隔地で品質や安全を確保して生産する技術的な仕組み、

契約先との信頼関係の構築、及び輸送コストの低減等の課題がある。